

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月19日

【評価実施概要】

事業所番号	4270201280
法人名	社会福祉法人 葉港会
事業所名	グループホーム 春日スプリングガーデン
所在地	〒857-0011 長崎県佐世保市春日町716-8 (電話) 0956-25-5088

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801長崎県島原市高島2丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年12月15日	評価確定日	平成21年1月5日

【情報提供票より】(H20年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 1月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	17 人 常勤 16人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,500 円	その他の経費(月額)	実費、理美容代2,000円~2,500円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり		800円	

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	0名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 87歳	最低	72歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	フジイ内科胃腸科医院・泉福歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街地から程近い、国道から少し入った斜面地に立地し、交通アクセスもよくなおかつ静かな環境も保たれている。母体法人は市内中心部にケアハウス、生活支援ハウスなどを運営され、当ホームと同敷地内においても生活支援ハウス、デイサービスセンター等が併設されている。どちらも高齢者福祉の拠点として機能しており、当ホームも開設時より老人会を中心に地域交流、地域還元に努めてきた。開設から6年が過ぎ、高齢化と認知度の進行と共に支援のあり方について管理者は真摯に取り組んでいる。終末期までの生活を、いかにホームの理念に沿って楽しく安らげるものとするかを考え、現在は医療連携と夜間体制を重要と考慮している。今年度はターミナルケアを経験し、家族からの信頼と感謝を受け止めてより一層のサービスの質の向上に意識が高まった。夜間体制に関しては具体的に二人体制に向け準備しており、状況対応への具体的意欲に多く期待できるホームである。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善計画シートを作成し、改善に取り組んだ。家族等意見の反映、介護計画に照らし合わせた記録の工夫、記録の簡素化に向けて徐々に取り組んできたが、今後も取り組みを継続したいとしている。災害対策に関しては、地域との連携に関して運営推進会議において提案をいただき今後具体化に向けて検討している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	個々の職員の気づきを集約し、現場の責任者である職員2名が管理者のもとにおいて記述するかたちで、全員で取り組んだ。日々の支援の振り返りの機会として真摯に取り組み記入されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回、家族代表、老人会代表、地域包括支援センター職員、介護支援専門員、管理者、職員を参加メンバーとして会議が開催されている。ホームからは入居者並びにホームの活動報告がなされ、質疑応答においては参加メンバーよりホームのモニター役として意見を頂いて、地域の中において会議の活用がなされている。今年度の会議の中では防災に関する地域連携の取り組みとして消防団との連携を、とのアドバイスを会議メンバーよりいただき検討することとしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	昨年度の評価に基づき改善に取り組んだ。家族会設立も念頭に置きながら家族との対話に時間をかけるようにして意見聴取に努めた。家族からいただいた意見、要望、それに対する検討と対応、その結果に至るまでの記録することで、支援の向上と家族との更なる信頼関係構築へと繋がっていくことに期待したい。また次年度は家族アンケートの実施にも期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	代表者が長い年月をかけて地域との繋がりを築いてきており、継続した交流に努め、法人内の新たな施設開設の折は地域の方も積極的に見学に訪れてくださる。今年度は老人会の依頼に応じて管理者が、認知症サポーター100万人キャラバンについて講演するなど交流がなされた。小、中学校、高校の児童、学生の福祉体験の受け入れもしている。

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として『太陽と音楽と香りと語らい』としている。法人代表者が、明るい環境のもとに、安らぎと癒しのある暮らしを、地域において温かな家庭的雰囲気の中で送っていただきたいという思いを込めて作り上げ、ホームにおいてその実践の為の支援の柱として掲げている。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はパンフレットにおいて明示、ホーム内に掲示されている。事務所には理念と並んで「おはようございます。ありがとうございます。」といった日常の挨拶の言葉が数句掲示されていて、朝礼時に唱和している。言葉を声に出すことでサービス提供の意識付けと身に備わる言葉使いを目的としており、理念に沿った安心できる暮らしへの支援に繋がるようにしている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	代表者がホーム開設以前より地域とのつながりを築いてきており、継続した交流に努め、法人内の新たな事業所開設の折は地域の方も積極的に見学に訪れてくださる。今年度は老人会の依頼により管理者が認知症サポーター100万人キャラバンについて講演するなどの交流がなされた。小中学生、高校生の福祉体験受け入れもなされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員一人ひとりがコピーされた評価項目に目を通し気づきをあげて、ホーム内責任者である職員が昨年度との取り組みの変化もつき合わせながら、管理者のもと集約するかたちで自己評価をおこなっている。日々のケアの振り返りの機会として真摯に取り組み記入がなされた。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、家族代表、老人会代表、地域包括支援センター職員、介護支援専門員、管理者、職員を参加メンバーとして会議が開催されている。ホームからは入居者並びにホームの活動状況が報告され、質疑応答において参加メンバーよりホームのモニター役として意見をいただき、地域の中において会議を活用している。		

グループホーム 春日スプリングガーデン

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人代表者でもある管理者は、法人全体の運営や市の老人福祉協議会での活動などにおいて行政との接点が多い。市の福祉に関する事業計画に関しても忌憚のない意見を伝えるなど行政との関わりを持ち、情報、意見の交換がなされている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会は比較的多く、職員が口頭で直接様子を伝えることも多いが、毎月1回、個別に近況報告を手紙に書いて伝えている。状況に応じて電話でも伝えている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	昨年度の外部評価に沿って、改善項目として取り組んだ。家族会発足に向けてまず家族へ『会』についての説明を面会時に個別に提示していったが、積極的な反応はいただくことは出来ず具体化とはならなかった。意見聴取への取り組みとしては、職員が家族と面会時に努めて会話の時間を多くするよう心がけた。		家族との対話に取り組んだ今年度の取り組みにプラスして、家族の意見、要望が聴かれた際にはその内容と対応、結果を記録に残しプロセスを追って、今後のサービスの向上に活かされ、家族からの信頼も更に増していけることに期待したい。並行して家族アンケートも実施されて、同様の取り組みもなされることに期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職、法人内他事業所の開設などに伴っての人的配置による異動はあるが、入居者への影響に配慮して、法人内の定期的異動は基本におこなっていない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に関しては管理者も積極的に参加するよう勧めており、職員一人一人の資格、能力においての目標に沿った研修に適宜に参加できるよう、公平性に配慮している。内部研修として法人内の全体研修会が半年に1回おこなわれている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内において各事業所間での職員の交流、情報交換がなされている。法人として市の老人福祉協議会に加入しており、代表者が活動に参加し情報収集などおこなっている他に、会議には時に職員も同行し外部との交流において学ぶ機会をつくっている。		

グループホーム 春日スプリングガーデン

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始までに入居希望の方へ、病院などへの訪問はもちろんのこと、ホームを家族、本人に見学していただいている。見学の際は、リラックスしてホームの雰囲気に馴染んでいただけるよう茶菓子のもてなしの時間も設けて、納得した利用開始へ繋げるように配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>年長者としての敬意を払うことを機会ある毎に意識しながら支援にあたっている。そのような日常において、入居者の方が衣服に気を使い、朝の洗面時にも髪を整え時に応じて薄化粧も忘れない姿に、職員は女性としての身だしなみについて気づかされ、見習わないと思うこともある。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の基本情報は一見してわかり易くファイルされており、詳細な入居者本人の生活史が家族協力のもと作成された方もおられた。統一したケアのために「その人像」の把握がしやすく情報の共有化が図りやすいように努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意向、要望を取り入れ、ケアカンファレンスにおいて職員で意見交換や記録を考慮し、計画作成をおこなっている。介護計画書は家族へ説明をおこない別に一部お渡しして、同意の署名、捺印をいただいている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的(3ヶ月)や状態変化に伴う見直しをおこなっている。前年度評価に基づく改善点として記録に関して改良の取り組みを継続中であり、今後は業務日誌の簡略化、ケース記録とケアプランの対比についてより把握しやすい記入などを検討していくこととしている。</p>		

グループホーム 春日スプリングガーデン

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	市からの委託事業として介護教室を開催している。老人会を通じてチラシなどで広報活動をおこない、先日法人内他事業所で開催された折には、外部参加者が40名を超え盛況であった。ホームの多機能性を活かした支援として、家族の宿泊対応が可能である。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者のかかりつけ医とホームの提携医が連携し、情報交換を行うことで継続したかかりつけ医への受診支援がなされ、安心できる医療体制が整えられている。提携医の往診が2週間に1度あり、歯科も往診がある。かかりつけの他科受診に関しては基本的に家族対応となっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	今年度は看取りの事例があった。本人、家族の意向に沿って医療機関、ホームと三者での話し合いを重ね、24時間体制の医療協力と看護師の資格を持つ職員が4名という心強いバックアップのもと支援が出来た。亡くなられた入居者の家族からホームへ車椅子の寄贈があり感謝の意を伝えられたことで、寄せていただいた信頼に応えるよう今後の取り組みに思いを新たにしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	支援において「語らい」を大切に、その中において言葉かけに関しては、入居者に対して尊厳の気持ちを常に忘れることがないように、時には職員間でも互いに注意し合うことで心がけている。朝礼時の挨拶の言葉の唱和に際しても、入居者への声かけと対応の支援に反映させるべく意識づけをおこなっている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の大まかな流れはあるが、自由にゆったりと過ごしていただくようにしている。最近、入居者の健康面に特に配慮しており、一人ひとりの体調に合わせた生活のペースを大切にしている。		

グループホーム 春日スプリングガーデン

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は職員も入居者と共に、同じ食事を摂っている。入居者同士、また職員と会話を楽しみながら穏やかな食卓でのひと時を楽しむ支援がなされている。食事は法人内の施設で作られ運ばれているが、ホームのキッチンでも、可能な限りで入居者にも手伝っていただき、お吸い物やおやつ作りをしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に入居者の希望に応じて、毎日入浴が出来るよう柔軟に対応し支援している。体調、本人の意向も配慮しながら、清潔保持のために最低でも週2回は入浴していただくようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみや茶碗拭き、居室の清掃など、筋力低下を防ぐ目的も含め生活感を大切に支援を念頭に、可能な限り家事に参加いただいている。生活の中で季節を楽しむ支援に年間行事を通して努めているが、法人内施設と長年おこなってきた餅つきが高齢化により困難になっても、「ぜんざい会」に変えて師走の雰囲気味わっていただいた。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の状態が歩行が困難な方も多くなられたので、敷地内を散歩することが主になってきているが、年に数回はドライブに出かけ少し遠方の外出を楽しんでいただいている。気候条件であったり入居者の状態で室内に閉じこもりがちにならないように、玄関前のスペースを車椅子でも移動しやすいよう整備し、季節が感じられる桜などの樹木を植え、外気浴をしていただく支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関に施錠はされていない。ホームの立地が斜面地であり、急な坂道と坂を降りた線路沿いの車道の状況に配慮して、見守りに加え安全対策として玄関にセンサー感知のチャイムを設置している。更に建物の構造上から見守りがやや困難な場合を考慮して、チャイムと連動して廊下中央の赤色灯がつくようになっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防用設備に関しては十分な設備と用意がなされており、玄関脇には佐世保市防災マップも掲示されている。年2回の避難訓練を夜間想定も含めておこなっており、今後は地域において消防団との連携を運営推進会議を通じて検討していくこととしている。		今後は災害対策の次の段階として、災害後の復興に向けての取り組みに期待したい。欠かすことのできないケアの継続の為に重要持ち出し品として、入居者個人情報ファイルの整備(写真付き)や、ライフライン確保の為に備蓄に対する取り組みに期待したい。

グループホーム 春日スプリングガーデン

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は法人内施設において他事業所の食事と共に調理され運ばれており、一日のカロリー計算と栄養バランスがチェックされた献立となっている。ホームに運ばれてから、入居者の状態に応じて塩分制限のあられる方への調整やミキサーによる形態食の対応などの個別の支援をおこなっている。食事、水分摂取量は、排泄、体重等と共にバイタル表で管理されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	調査訪問時は12月であり、クリスマスの飾りが玄関や壁面にさりげなく施され、落ち着いた中で季節感を伝えていた。縦長の食堂、居間のスペースは少し高台となっている窓外の眺めもよく、暖かな日差しがよく注ぎ入居者もソファでゆったりと過ごされていた。共用空間は清掃も行き届きすっきりとした清潔感が印象的である。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋ともテラスに面した掃きだしの窓があり、採光と通風、災害時の避難についても機能的な居室となっている。備え付けの設備としてクローゼットのほか洗面台があり、身の回りの小物を手洗いされる入居者もおられる。持ち込みの家具、テレビ、調度品により、その人らしい部屋作りの支援がなされている。		